

俺の名は西畑陽一  
四十歳。刑事をしている



幼少期は  
亡き父が残した食堂を  
母と支えていたのだが



早くに母も  
亡くしてしまった

天涯孤独になった  
俺を支えてくれる  
人に出会い  
今に至る――



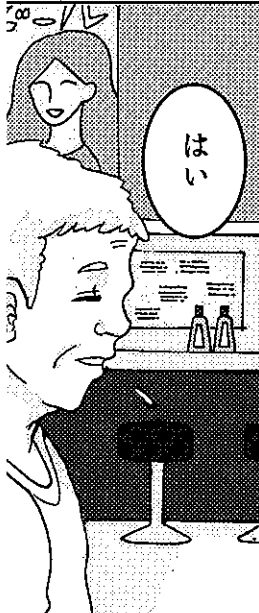
# いしんぼう 刑事

咲花りん

ではあなたが  
犯人らしき人影を  
見たのは八日未明で  
間違いありませんか？



はい



仕込みに起きて  
油の交換を  
している日  
だったので……

以前は  
三日に一回  
変えて  
いたんですが

最近は一週に一回、  
木曜日と決めて  
いたので  
間違いないと  
思います

はあ。  
なら間違い  
ないですね

朝から  
刑事さん達  
働きづめだから

うちの  
カツ丼でも食べて  
休んで下さい

油の交換が  
週に一度か……  
この店の規模では  
少なすぎる

味にこだわりの  
ない店か……

よさうち



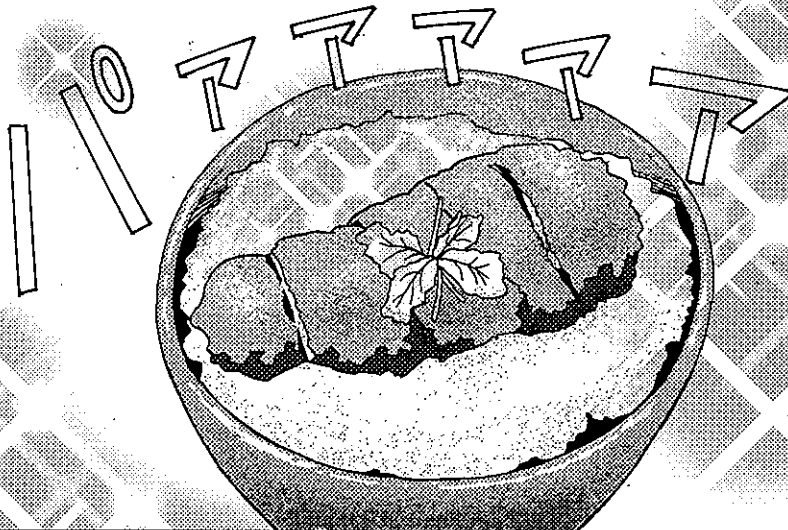
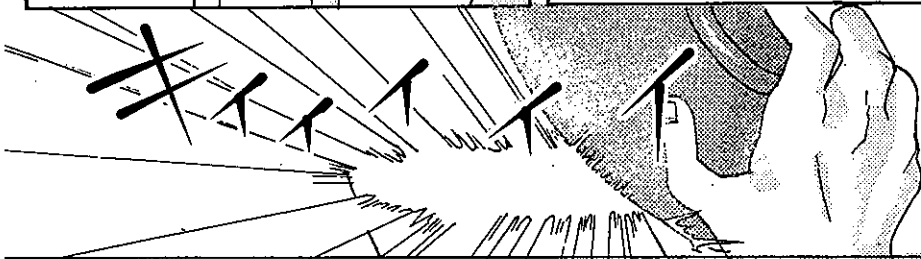
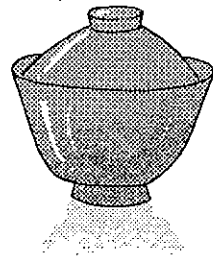
いえ、業務中  
ですので  
おかまいなく

作り置きの  
冷めたものしか  
ないですが……

いただきます



結局頼んで  
しまった





そうだあれは  
俺が初めて親父に  
料理を教わった  
ときのことだ

いいか陽一  
カツは油が命だ

重要なのは温度と  
小まめな手入れ

悪い油では  
いいカツは揚がらん

うちのウリは  
揚げ物  
でしてね

ふふふ……  
気に入って  
もらえたようで

嬉しいことに  
遠方から  
足を運んでくれる  
お客さんも  
いらつしやって

丸一日  
フライヤーは  
稼働しっぱなし  
ですよ

……

冷めている  
のにサクリと  
した衣

油切れの  
良さ

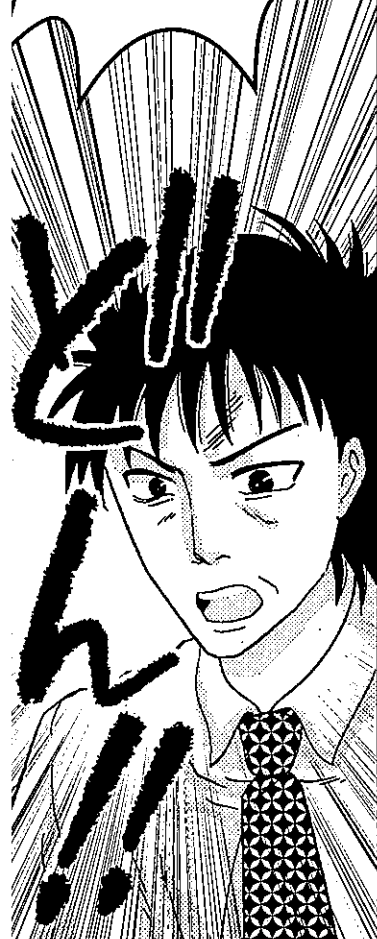
それに  
待てよ…

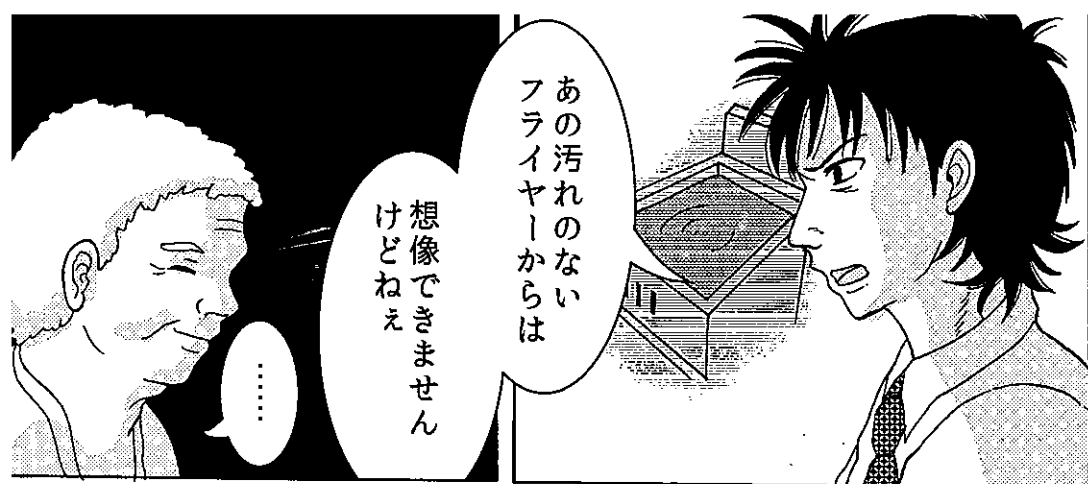
店主は週に一度の  
油交換だと言っ  
てなかつたか…？



サクッ

それであの  
美味しさは  
おかしい！

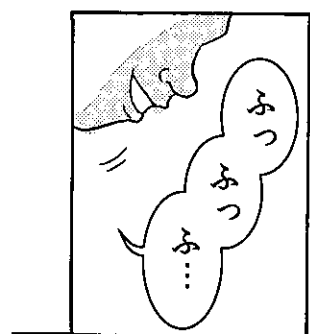




あの汚れのない  
フライヤーからは

想像できません  
けどねえ

……

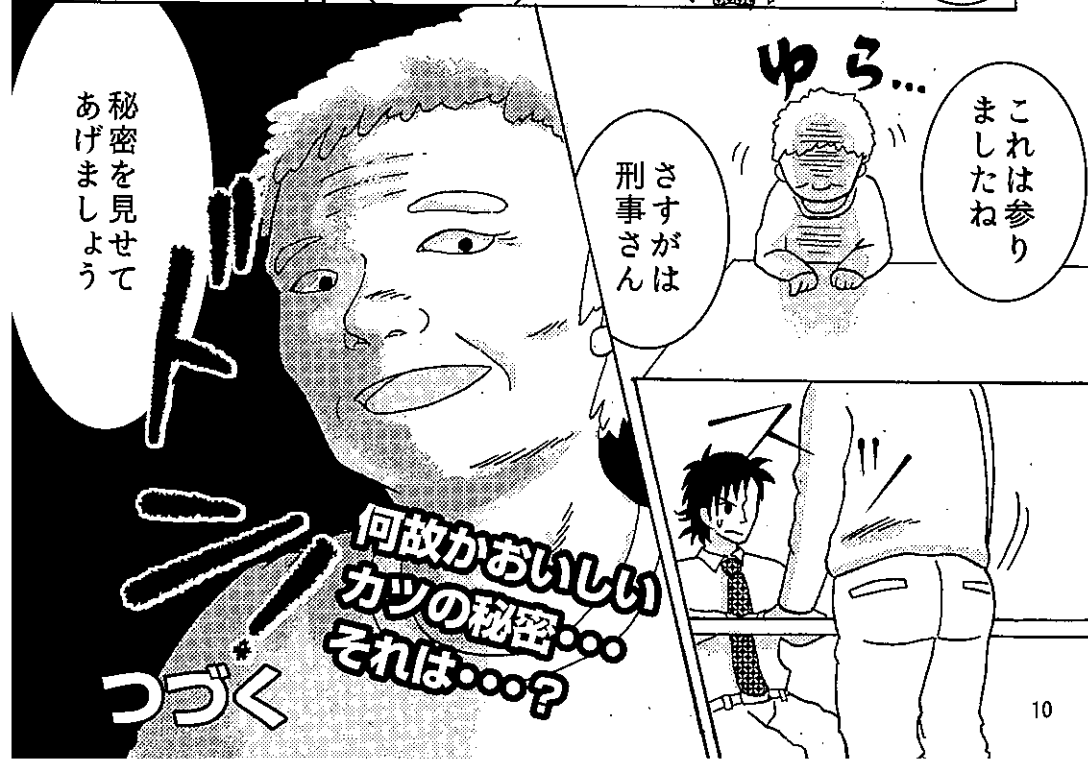


ふっ  
ふっ  
ふ…



しかも匂いが  
まるでないが

店主……  
何か隠して  
おいででは  
ないですか？



秘密を見せて  
あげましょう

ゆる…

これは参り  
ましたね

さすがは  
刑事さん

何故かおいしい  
カツの秘密…  
それは…？

つづく